

2025_0301 「ついに出現！花粉光環（写真）」日々の理科 3859号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

今朝（3月1日）の天気予報で、関東地方の花粉は「非常に多い」と報じていました。ここ数日、天気が良く気温も上がったので、関東西部のスギ花粉が一気に飛散を始めたのです。私は両親の実家がある、埼玉県小川町に向かう高速道路でまずそれを実感しました。快晴だったのですが、大気全体がひどく霞んでいて、遠くの山がほとんど見えないのです。これは間違いなく「花粉光環」が出現していると思い、小川町町内で撮影してみました。

「花粉光環（かふんこうかん）」は、大気中に一様に漂うほぼ同じ直径の粒子（スギ花粉）によって、太陽の周囲に色のついた「環（リング）」が出現する、「大気光学現象」の一種です。花粉の量が多いほどはっきりと見えます。光球（太陽の表面）が非常に強い光なので、肉眼で観察する場合も、カメラで撮影する場合も、太陽を何かで隠さないと観察できません。電柱の最上部や、街灯などが適しています。双眼鏡や望遠鏡での観察は絶対にNGです。思った通り、かなりはっきりした花粉光環が出現していました。まさに「美しき嫌われ者」です。花粉に弱い方にとっては、非常に辛い時期になった・・・という一つの証拠ですね。

（2025年3月上旬／埼玉県比企郡小川町）

